

Analytics & AI Transformation

PwCコンサルティング合同会社
Data & Analytics チーム



アナリティクスやAIを活用したビジネス変革に向けた支援



組織へのアナリティクス導入の際によく発生する課題

組織にアナリティクス活用の土台を作り、根付かせ、構築するには、さまざまな課題を解決する必要があります。

構造的課題	組織的課題	行動的課題
<ul style="list-style-type: none">• どのデータを活用すればいいかわからない• 専門スキルを持つ社員がおらず、分析の設計ができない• ITインフラが古く、大量のデータを分析できない	<ul style="list-style-type: none">• 新規事業創出への関心が薄く、アナリティクス活用のモチベーションが低い• 誰が責任を負うのか、ガバナンス構造が不透明• 組織横断的なデータ活用に至っていない	<ul style="list-style-type: none">• データドリブンな意思決定を行う習慣がない• 失敗を許容し、素早く軌道修正する組織文化がない• 長期的な視点が抜け落ちており、場当たりのアナリティクス活用に留まっている

当社のAnalytics & AI Transformation (AX) ソリューションであれば、貴社のアナリティクス導入を、ビジョン／ロードマップ作成から施策実行、自走まで幅広く支援することが可能です。

AXの特徴①

6つの観点で自社の現状と目標／ベンチマーク企業との差を分析することで、さまざまなクライアントのニーズに合わせたトランスフォーメーションを実現します。

6. 文化と人材

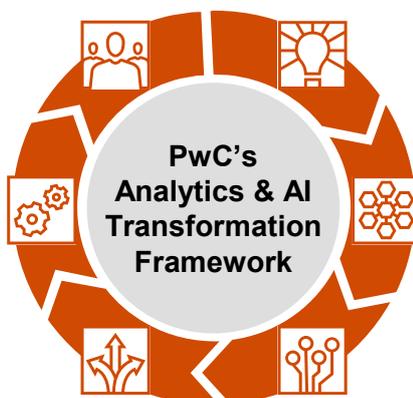
人材スキル開発およびカルチャー変革に向けた行動メカニズムの設計

5. プロセスと統合

プロセス移行や、KPI指標の合理化、チーム間の依存関係円滑化

4. 組織とガバナンス

各ロールと責任範囲の明確化や、人的・技術的リスクを検知・軽減する組織の構築



1. ビジネス意思決定とアナリティクス

経営とビジネスユニットの方針整合、コアとなるビジネスユースケースの特定・優先順位付け

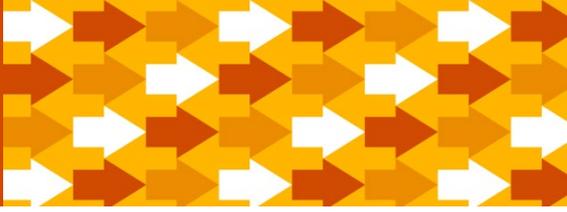
2. データと情報

大量データの活用を最適化する仕組みや処理の実施、データの統合、安全性とプライバシーの管理

3. 技術とインフラ

データ基盤、拡張性あるオープンソース選択、デジタルおよびユーザー中心のアプリケーション開発

Analytics & AI Transformationの分析観点



AXの特徴②

確立された3つのステップで、クライアントのアナリティクスを高度化します。ビジョン／ロードマップ策定から組織の拡張に至るまで、フルパッケージでのご支援の他、一部のみの支援も可能です。

Analytics & AI Transformation全体の流れ



テクノロジーと組織の変革

【自社リソース】

- アナリティクス/AIビジョンの創造(BXTセッション)
- 成熟度調査による現状認識と、価値実現に向けたユースケースの特定
- To-Beのケイパビリティ定義と、実行対象ユースケースの確定
- ロードマップ作成



- 優先ユースケースの実行による価値の実感
- 適切なデータのアーキテクチャとデータ保護の設計・構築
- 目的に即したテクノロジーの組み合わせによる設計・選択
- 新たな組織・ガバナンス体制への移行
- アナリティクスのプロセス整備とKPIの合理化
- 行動変革メカニズムの設計と必要な人材の充足

- 高度なユースケースの実施による価値実現の継続
- 高度なユースケースを実行するためのデータアーキテクチャの実装
- 高度なユースケースを実行するためのテクノロジースタックの実装
- 組織の構造とガバナンスの体系化
- アナリティクスインサイトの創出を根付かせるためのビジネスプロセス再構築の推進
- 新たな行動規範と人材プールの充実に向けたコンプライアンスの改善

or 【アウトソース】

Analytics as a Service | 1~5年*

*タイムラインは、取り組みのスコープによって異なります。

AXの特徴③

アナリティクス成熟度評価のメソッドロジーおよび国内外2,000件以上のユースケースを活用することで、クライアント個々の課題設定やニーズに合わせた支援が可能です。

アナリティクス成熟度評価を活用したAXロードマップ策定

米カーネギーメロン大学と共同開発したフレームワークを用いて、現状のデータ利活用レベルを把握し、将来の変革ビジョン実現に向けた施策ロードマップの策定を支援します。



ユースケースDBを活用したユースケースの推進

国内外問わず、業界ごとに2,000件以上の豊富なユースケースが登録されたDBを用いて、データ利活用案件の洗い出しと優先順位付けを行い、プロダクト化に向けたPoC推進を支援します。

業界・業務領域別 ユースケースDBの件数

Sector	Corporate Strategy	Finance	HR	IT / Data Science	Marketing /Sales	Operations /Supply Chain	Risk / Forensics	Grand Total
消費財 & 小売	42	12	5	17	138	66	8	288
金融	38	43	8	41	112	50	46	338
ヘルスケア	28	32	9	35	121	276	88	589
製造 エネルギー	39	15	9	29	50	249	5	396
公共公益	16	7	5	14	7	11	8	68
情報通信 メディア	41	29	15	48	136	70	6	345
その他	3	4	2	3	1	4	0	17
Grand Total	207	142	53	187	565	726	161	2041

次のページで、ご要望の多いAX支援事例をご紹介します。

ご要望の多いAXご支援事例

これまでの事例の中から、ご要望の多い3つのケースをご紹介します。

AX ロードマップ 策定

概要

米カーネギーメロン大学と共同開発したフレームワークを用いて、現状のデータ利活用レベルを把握。
将来の変革ビジョン実現に向けた施策ロードマップの策定を支援。

利用ツール／アウトプットイメージ

成熟度診断フレームワーク

領域／説明

成熟度(5段階)

概要

国内外含め、業界ごとに2,000件以上の豊富なユースケースが登録されたDBを利用。
データ利活用案件の洗い出しと優先順位付けを行い、プロダクト化に向けたPoC推進を支援。

利用ツール／アウトプットイメージ

ユースケースDB

Sector	Corporate Strategy	Finance	HR	IT / Data Science	Marketing /Sales	Operations /Supply Chain	Risk / Forensics	Grand Total
消費財 & 小売	42	12	5	17	138	66	8	288
金融	38	43	8	41	112	50	46	338
ヘルスケア	28	32	9	35	121	276	88	589
製造	39	15	9	29	50	249	5	396
エネルギー	16	7	5	14	7	11	8	68
公共公益	41	29	15	48	136	70	6	345
情報通信	3	4	2	3	1	4	0	17
その他	3	4	2	3	1	4	0	17
Grand Total	207	142	53	187	565	726	161	2041

データ利活用 組織立ち上げ

概要

新組織形態・ミッション検討から、人材スキルやKPI定義まで、体系的に支援。
アナリティクス人材の業務プロセス定義や育成計画も幅広く取り扱う。

利用ツール／アウトプットイメージ

組織役割の検討フレーム

アナリティクス人材スキルマップ

取り組みイメージ

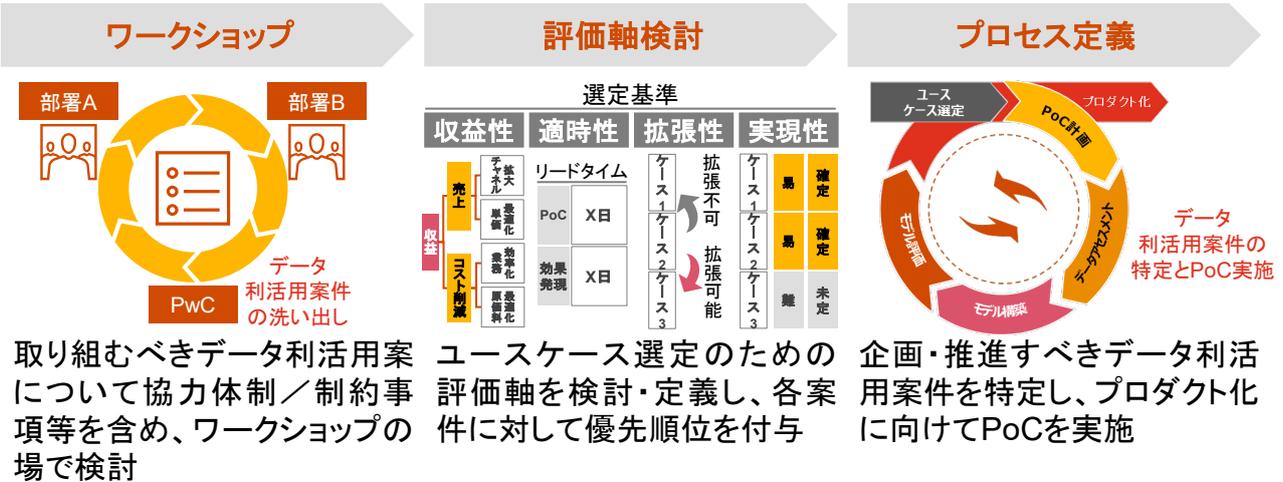


実施カテゴリ	No	実施名	KPI(数)	2003期 ~3月	4~6月	7~9月	10月~	2103-2203期	2303期-2403期
①	1	アナリティクス タイプ別データの 向上	分析官の専門スキル (データ分析可能な 領域数)の向上 ・スキル保有率 ・データ分析 官の数 ・スキル評価		人材要件特定・評価実施 育成の促進	スキル向上完了 スキル向上完了	スキル向上完了 スキル向上完了	半期別の評価・見直し プログラムの評価・見直し	
	2	分析ツールとプラットフォームの 整備	分析工数の削減		分析ツール標準化ルール策定 分析のプラットフォームの整備・標準化	分析ツールの導入・整備 分析の自動化完了	分析ツールの導入・整備 分析の自動化完了		
②	3	アナリティクス実施 プロセスの 正規化	BA人材の人数 ・企画プロセスの 省力化 ・BA人材の人数 ・企画プロセスの 省力化		アナリティクス案件の企画プロセス策定	アナリティクス案件の企画プロセス策定		他対象部門への適用	
	4	アナリティクスを実施 する際のプロセスの 正規化	POCの最低 品質の担保 ・標準化されたプロセス の推進		アナリティクスPOC実施プロセス策定 アナリティクスPOC実施プロセス策定 プロダクト化の際に必要なルールの整備	アナリティクスPOC実施プロセス策定 アナリティクスPOC実施プロセス策定 プロダクト化の際に必要なルールの整備	アナリティクスPOC実施プロセス策定 アナリティクスPOC実施プロセス策定 プロダクト化の際に必要なルールの整備	他対象部門への適用	

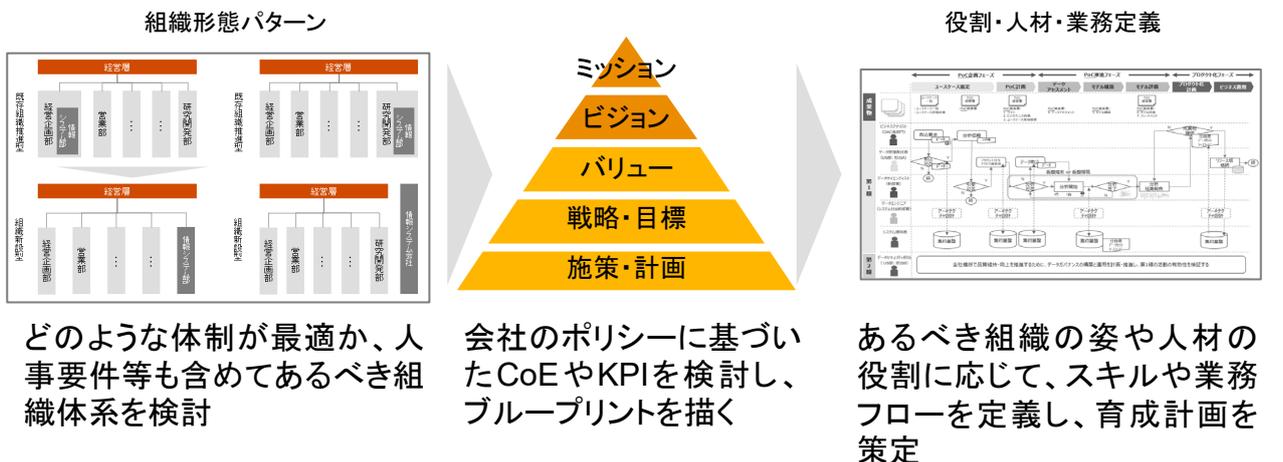
現状と目指す姿の妥当性や実現性を評価し、ギャップを抽出

ギャップを埋めるためのアクションを施策化し、ロードマップを策定

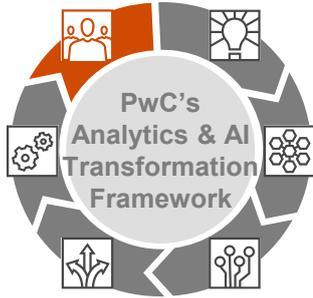
取り組みイメージ



取り組みイメージ



AXに関連したAI人材育成、データマネタイゼーションのご紹介



AI人材育成

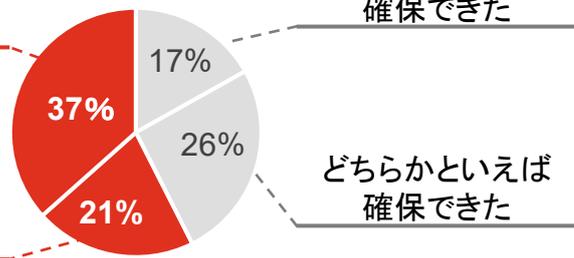
AI・データ利活用を、目的に即した組織設計／人材定義やゴール設定から始め、要件に沿った人材の育成と自社の課題解決に向けた、伴走型の人材育成支援プログラムを提供します。

AI・データ利活用人材は不足傾向にあり、過半数の日本企業で、外部人材の採用によるケイパビリティの強化／補完が困難な状況となっている。従って、**自社での人材育成が急務**である。

Q. この1年間で貴社が目標としていた人数のデータサイエンティストを確保できましたか

確保できなかった

どちらかといえば確保できなかった



出所：データサイエンティストの採用に関するアンケート調査結果（2019年）一般社団法人データサイエンティスト協会

当社の伴走型人材育成支援プログラムのアプローチ

①事業戦略に基づいた
中長期のゴール設定

②AI・データ人材育成講義型支援

③自社課題解決に向けた伴走型支援

AI・データ利活用に
必要な各種技術の
研修

実ビジネスを基にした
ケースワーク

自社の優先課題
選定を行う体験型
ワークショップ

AI・データ利活用
プロジェクト支援

実施内容

当社独自のベンチマークを参考にアセスメントを実施。必要な組織／人材を部門や職階ごとに定義

定義された要件に合わせ、要素技術の習得を目的とした研修を選択して実施

学びを現場で活かせるように、ビジネスを想定した実践研修を実施

当社で支援実績のある事例等を踏まえて、自社で取り組むべき優先課題について社員自らがディスカッション・選定

学びをビジネスに活かして、プロジェクト*からモデリングや勘所を学び、自走可能になるまで当社が伴走支援
*PoC実施等も含む

ゴール

組織設計／人材要件
定義

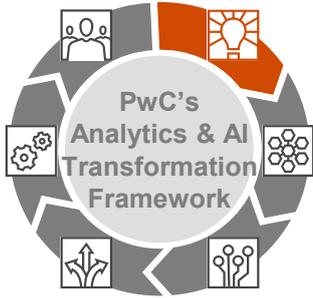
必要研修受講

ビジネスに即したケース
による学び

自社課題をAI・データで
解決するための勘所を習得

AI・データを活用し、課題
に対して自社で対応

貴社の状況に合わせたカスタマイズを行い、トランスフォーメーションを実現します。

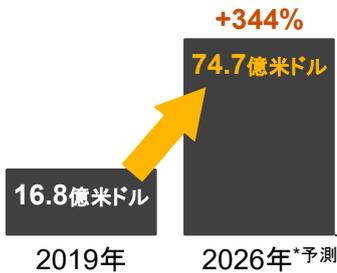


データマネタイゼーション

クライアントが保有するデータ資産に対して4つの方向性で戦略を策定し、3つのステップで事業活動に付加価値を創出します。

データ収益化市場は業界や業種を問わず存在。市場規模は今後2026年までに全世界で74.7億米ドルに到達する見込み。

市場規模



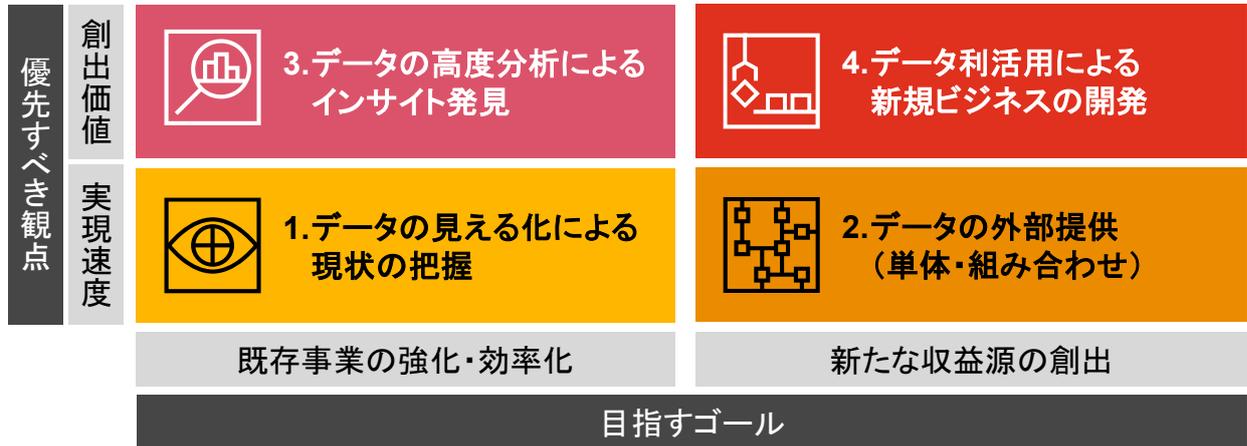
業界別内訳

Industry	2019 (億米ドル)	2026 (億米ドル)	CAGR* (%) 2019-2026
銀行・金融・保険	4.8	20.9	22.07
電機通信・IT	2.9	12.8	22.35
製造	1.1	5.3	24.18
消費財・小売	5.6	23.3	21.49
ヘルスケア	1.7	8.9	25.70
その他	7	3.5	23.63

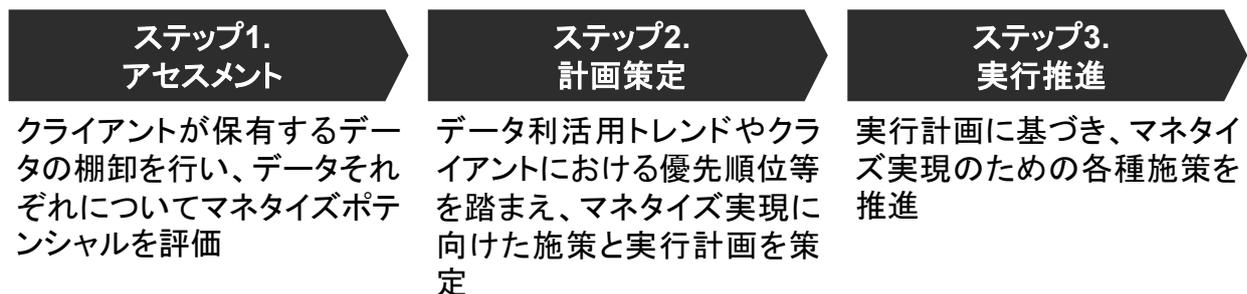
出所: GLOBAL DATA MONETIZATION MARKET(2021-2026)

* Compound Annual Growth Rate : 年平均成長率

当社の考えるデータマネタイゼーションの4つの方向性



データマネタイゼーションの3つのステップ



お気軽に当社へご相談ください。

お問い合わせ

PwCコンサルティング合同会社

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-2-1 Otemachi One タワー
TEL : 03-6257-0700(代表)

www.pwc.com/jp/consulting

藤川 琢哉

Partner
takuya.fujikawa@pwc.com
+81 (0) 80 3358 8502

河野 美香

Director
mika.kawano@pwc.com
+81 (0) 80 3706 5766

山上 真吾

Senior Manager
shingo.yamagami@pwc.com
+81 (0) 80 4149 0268

影本 達也

Manager
tatsuya.kagemoto@pwc.com
+81 (0) 80 3542 9145

PwCコンサルティング合同会社のご紹介

PwCコンサルティング合同会社は、経営戦略の策定から実行まで総合的なコンサルティングサービスを提供しています。PwCグローバルネットワークと連携しながら、クライアントが直面する複雑で困難な経営課題の解決に取り組み、グローバル市場で競争力を高めることを支援します。

PwC Japanグループ

PwC Japanグループは、日本におけるPwCグローバルネットワークのメンバーファームおよびそれらの関連会社（PwCコンサルティング合同会社を含む）の総称です。各法人は独立して事業を行い、相互に連携をとりながら、監査およびアシュアランス、コンサルティング、ディールアドバイザリー、税務、法務のサービスをクライアントに提供しています。